

2020年9月7日

株式会社首都圏中学模試センター

首都圏模試センターとしての新型コロナウイルス感染防止対策について(改訂版)

首都圏模試センターでは学校会場での模試を再開するにあたり、新型コロナウイルス感染防止対策を以下のように徹底いたします。

(受験生について)

- 受験生は朝の体温を、受験票に記入。入口で座席票を渡す際にスタッフが体温を受験票でチェック。37.0度以上の発熱がある場合、もしくは軽度であっても咳などの症状がある場合は、会場への入場を制限する(受付で確認した場合は自宅受験を求める)。
- 受験生は全員マスク着用。咳エチケットを遵守するように徹底する。
- 受験生は入退室時、アルコール消毒を徹底させる(試験監督はアルコールスプレーを携帯し、休憩中は入口の前に立ち、再入室する受験生に対して手・指のアルコール消毒を行う)。
- 体調不良者が出た場合は即時別室に移動させて、体温を確認。37.0度以上ある場合、または体調が悪い場合は帰宅させる(自宅受験対応)。
- 休憩中、廊下やトイレなどでの私語は控える。

(保護者)

- 校舎内に保護者控室・待ち合わせのための待機場所を設けるかについては学校と相談の上決定する。

(保護者会・学校説明会・相談会)

- 当社主催の保護者会・学校説明会は密となるため、行わない(当社オンライン学校説明会をご利用ください)。相談会等は各学校の判断とする。

(運営について)

- ソーシャルディスタンスを取った上で各教室20名程度を上限に入室を制限。
- 入口～教室やトイレ等の密集を避けるため、分散入室を状況に応じて行う。
- 入室する際の導線と、退室する際の導線を区別する。
- ソーシャルディスタンスを保った上で退室させる。
- 試験終了後、机、椅子、ドアノブや手すり、電気のスイッチ、エレベータのボタン、トイレの便座等、受験生の手が触れる部分の消毒作業を行う(除菌液等は当社にて手配する)。
- 教室は室内換気を徹底し、継続して換気を行う。
- トイレは混雑しないよう、ソーシャルディスタンスを取った上で人数を制限する。

(スタッフについて)

- スタッフ全員マスク着用、咳エチケットの遵守。入口周辺・受付・誘導等のスタッフ・試験監督はフェイスシールド着用
- スタッフは自宅で体温を測り、37.0 度以上の発熱がある場合、もしくは軽度であっても咳などの症状がある場合は出勤停止。学校に入る前も検温を実施する。

(その他・全般)

- スタッフと受験生には、事前に感染が発覚した同居親族ほか濃厚接触者となりうる者との接触がないことや、2 週間以内の海外渡航がないことを確認し、上記に当てはまる者については来校をお控えいただく。

(補足事項)

- 当社では解答用紙を座席番号で管理しており、受験生がどこの教室で受験していたかをシステムで把握しております。事後に感染していたことがわかった場合でも、すぐに確認ができるようになっております。

以上